

### 1. 本時（1学期3時間目）の指導

#### (1) ねらい

人間の生活にとって言葉がたいへん重要で、他者とのコミュニケーションを図る道具であるだけでなく、言葉が相手に対して大きな影響を与えるものであることに理解を深めるとともに、日本人が古来から言葉を大切に扱ってきたことを学んで、日常生活における自身の言葉遣いに注意を向けさせる。

#### (2) 指導要領に基づく道德の内容

2-(1)礼儀の意義を理解し、時と場に応じた適切な言動をとる。

(2)温かい人間愛の精神を深め、他の人々に対し思いやりの心をもつ。

(3)友情の尊さを理解して心から信頼できる友達を持ち、互いに励まし合い、高め合う。

#### (3) 展開

学習活動と主な発問	教師の支援
<b>導入</b> 言葉遣いを変えることで、考え方が変わり自身の運命までも変わるという前時の授業の感想を発表する。	考え方が変わることで、言葉遣いが変わるのではなく、まず言葉遣いを変えて、習慣化することで、考え方が変わることを説明する。
<b>展開 1</b> 1 人から言われてうれしいと思う言葉と、嫌だなど思う言葉を10個ずつ記入させる。 2 書いた内容を順番に発表させる。 3 書いてみて気がついたことを発表させる。 4 アンケート結果（言われてうれしいベスト10、嫌なワースト10）の空欄に何の言葉が入るかを考えて発表させる。	プリント1を配付 ・思いついたものからどんどん書かせる。 ・うれしい言葉は板書するが、嫌な言葉は板書せず発表のみ。 ・うれしい言葉より、嫌な言葉がたくさん出てくることに気づかせる。 ・プリント2を配付。うれしい言葉が、相手に対する感謝、いたわり、励ましや仲間と認めるもの、嫌な言葉は相手の存在を否定するものであると気づかせる。
<b>展開 2</b> 5 「言霊」について説明し、具体例を考えさせる。	古来の日本人がいかに言葉を大切に、畏怖の念を持っていたかを説明する。
<b>まとめ</b> 自分自身の言葉遣いについて振り返らせ、どのような言葉を使いたいかを考えながら、本時の感想を記入	口から発した言葉は、取り消せないこと。発した言葉が自分の無意識にまで影響することを伝える。

2. 資料（自作プリント2）

麗澤瑞浪中学生に聞きました

**言われてうれしいベスト10**

- 第 1位 \_\_\_\_\_
- 第 2位 \_\_\_\_\_
- 第 3位 \_\_\_\_\_
- 第 4位 いいね、すごいね
- 第 5位 だいじょうぶ？
- 第 6位 \_\_\_\_\_
- 第 7位 どんまい
- 第 8位 ごめんね
- 第 9位 じゃあだね、うまいね
- 第 10位 いっしょに〇〇しよう

**言われていやなワースト10**

- 第 1位 \_\_\_\_\_
- 第 2位 \_\_\_\_\_
- 第 3位 ばか、あほ、まぬけ
- 第 4位 \_\_\_\_\_
- 第 5位 \_\_\_\_\_
- 第 6位 かす、くず、ごみ
- 第 7位 どじ、へたくそ
- 第 8位 調子乗るな
- 第 9位 だまれ
- 第 10位 はあ？

**「言霊」について**

日本には古来から、「言霊」という考え方がありました。言霊とは、言葉に宿ると信じられた霊的な力のこと。「言魂」とも書きます。

声に出した言葉が現実の出来事に対して何らかの影響を与えると信じられ、良い言葉を発すると良い事が起こり、不吉な言葉を発すると凶事が起こるとされた。

今日にも残る結婚式などでの「忌み言葉」もこの言霊の思想に基づくものです。

日本は言霊の力によって幸せがもたらされる国「言霊のさきはる国」（言霊の力で幸福がもたらされる国）とされた。『万葉集』にも「しきしまの日本の国は事霊のさきはる国ぞ…」と歌われている。ここで、「言霊」でなく「事霊」と書かれているのは、古代において「言」と「事」は同じ、つまり、「ことば」で言い表されたことと、実際の出来事や行動とは同じだと考えられていました。

【「忌み言葉」の具体例】

結婚式で…「別れる、離れる、終わる」など

受験で…「落ちる、すべる」など

新居祝いで…「焼ける」など

言い換え…「終わり、おしまい」 → おく（ ）

鏡割り → 鏡（ ）

「あし（葦、芦）」という植物 = 「<sup>あ</sup>悪し」 → よし

「四、九」 = 「死、苦」 → 「よん」、病院、ホテルなどで使用しない

魚の切り身、刺身 = 「腹を切る」 → おく（ ）

今日の授業の感想を自由に書いてください。


### 3. 生徒の感想（抜粋）

- 1、言葉には魂が込められており、嫌な言葉を発言すると自分に返ってくるということを知ったので、言葉遣いには常に気をつけていきたい。
- 2、現代の人は悪い言葉ばかり使っている。なので、物事をネガティブに考えてしまうんだと思った。昔の人のように言葉遣いをキレイにしたいと思った。そうすれば少しはポジティブになれるのでは？と思った。
- 3、昔の日本人はすごく言葉に気をつけていたことが分かりました。心がきれいだから言葉がきれいなのではなく、言葉がきれいだから心がきれいになっていくということが分かった。逆だと思っていた。現代人も昔の人を手本にした方がいいと思った。
- 4、自分たちは言われたら嫌なことを今まで自然に使ってきちゃってしまっていたので、これからは人の気持ちを考えながら人と接しようと思った。言葉は相手だけでなく、自分にも影響があると分かったので、嫌なことがあっても我慢していこうと思った。
- 5、今日の授業で、言葉の持つ力の強さを感じた。他人を傷つけることは、自分を追い込んでいくので、言葉はやっぱり自分のため他人のために使っていこうと思った。
- 6、僕も言われてうれしくない言葉を何も気にせず普通に使っているのだから、これからは言葉に気をつけて、困っている人やさみしそうな人がいたら、「大丈夫？」や「がんばれ」などと声をかけられる人になりたい。
- 7、今日の授業で心と言葉がつながっていることも分かった。まずは形だけでもしっかりと実践していきたい。
- 8、言葉は良くも悪くもすごい力を持っているんだなと思った。自分にも相手にも悪い影響を与えてしまうのも怖いと思う。昔の人たちの工夫とかがすごく面白いなと思った。今の日本をもっと言葉遣いのキレイな国にするためには、私たち一人ひとりが気をつけなくちゃいけないと思う。
- 9、日本の昔の人はと一つでも言葉に気をつけていたのに、現代の人たちは日本人として情けないと思う。
- 10、言われてうれしい言葉は、言う方も言われる方も明るい気持ちになれるし、嫌なこともポジティブに考えられそうなので、たくさん使っていきたい。言われて嫌な言葉は、言われる方が暗い気持ちになってしまい、何事にもネガティブに考えてしまうので、絶対に使いたくないと思う。でも意識しないと悪い言葉を使ってしまうので、常に意識していきたい。
- 11、言葉は相手をほめたり、優しくしたり、傷つけたりすることができるので、言葉遣いには気をつけなくてはいけない。自分が嫌な言葉を使えば、相手も嫌になるし、自分も悪くなっていくと思う。
- 12、言葉一つ一つに魂が宿っていて、相手に良い影響も悪い影響も与えることが分かった。良い言葉を使えば良い心になり、悪い言葉を使えば、悪い心になることを知ったので、良い言葉をどんどん使っていきたい。
- 13、最初から「できない」や「だめだ」、「嫌いだ」などを言わず、自分に「できる」などを言い聞かせたいと思った。ありがとうなどは普段意識していなくても使えるようになりたい。1日何回言うなど目標を持って生活したい。
- 14、言葉って怖いと感じた。言霊について、私はこれを良いことだなと思う。よく聞く、受験などで落ちる、すべるなどを使われると精神的に少し追いつめられるのではないかなと思う。言葉ってとても大切だ。
- 15、言われて嫌な言葉の方がたくさんすぐに浮かんできたので自分でもびっくりした。言葉は本当に自分自身を変えてしまうものだなととても思ったし、いい使い方をすれば自分にもその周りの人にも分かち合ってもらえると思った。やっぱり言葉は大事だと改めて思った。
- 16、悪い言葉は絶対に使っちゃいけないなと思った。いつもテスト前などに「今回は無理だ」「あきらめた」などと言ってしまふ。なので、全くやる気ができない。次からは、「今回いける」「がんばる！」「やる気だ！」などと、ポジティブに考えようと思った。1日30回以上良い言葉を使っていきたい。
- 17、日々何気なく使っている言葉は実は人を動かすこともあると知った。なので、これからは一言一言に責任を持ちたいと思った。またいい意味で周りや自分を盛り上げていけるような言葉を発していけるようにしたいと思った。